

# 商店建築

# 5

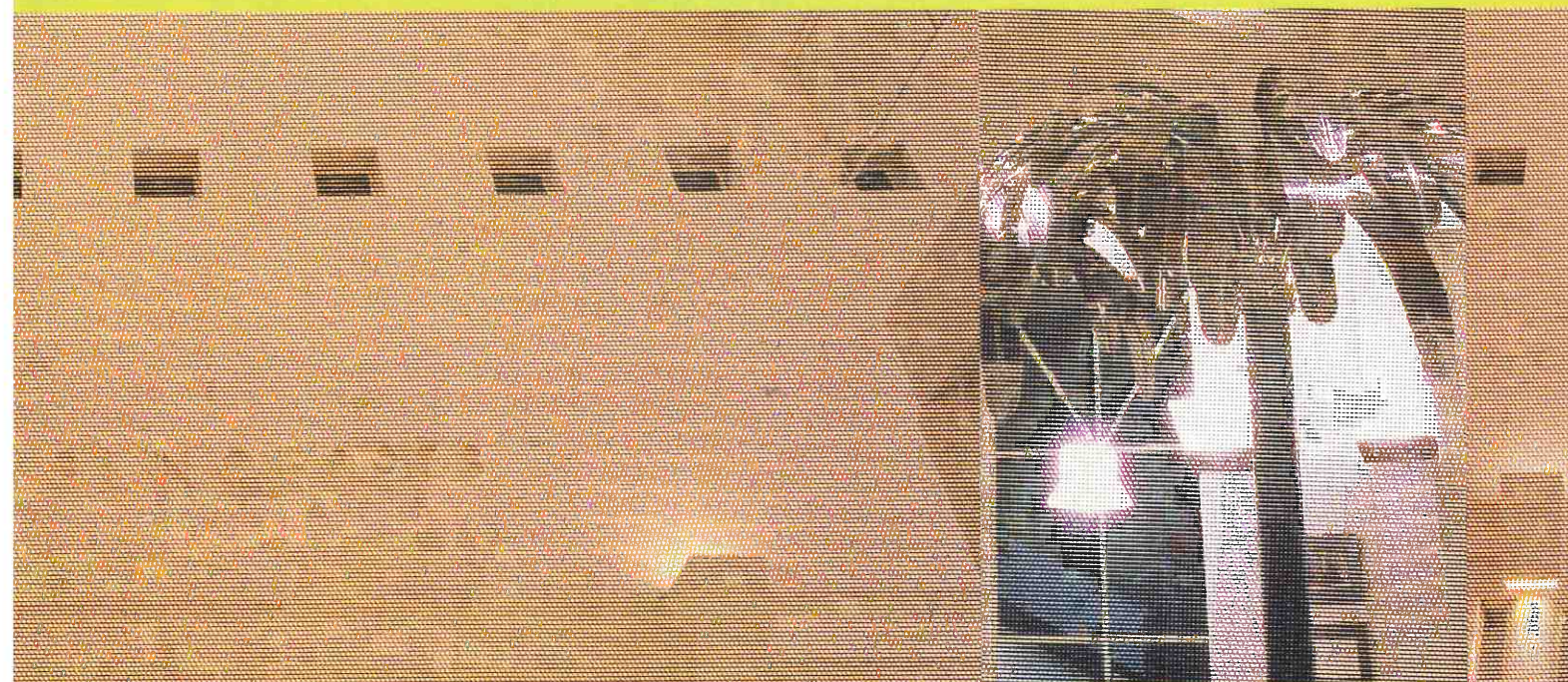
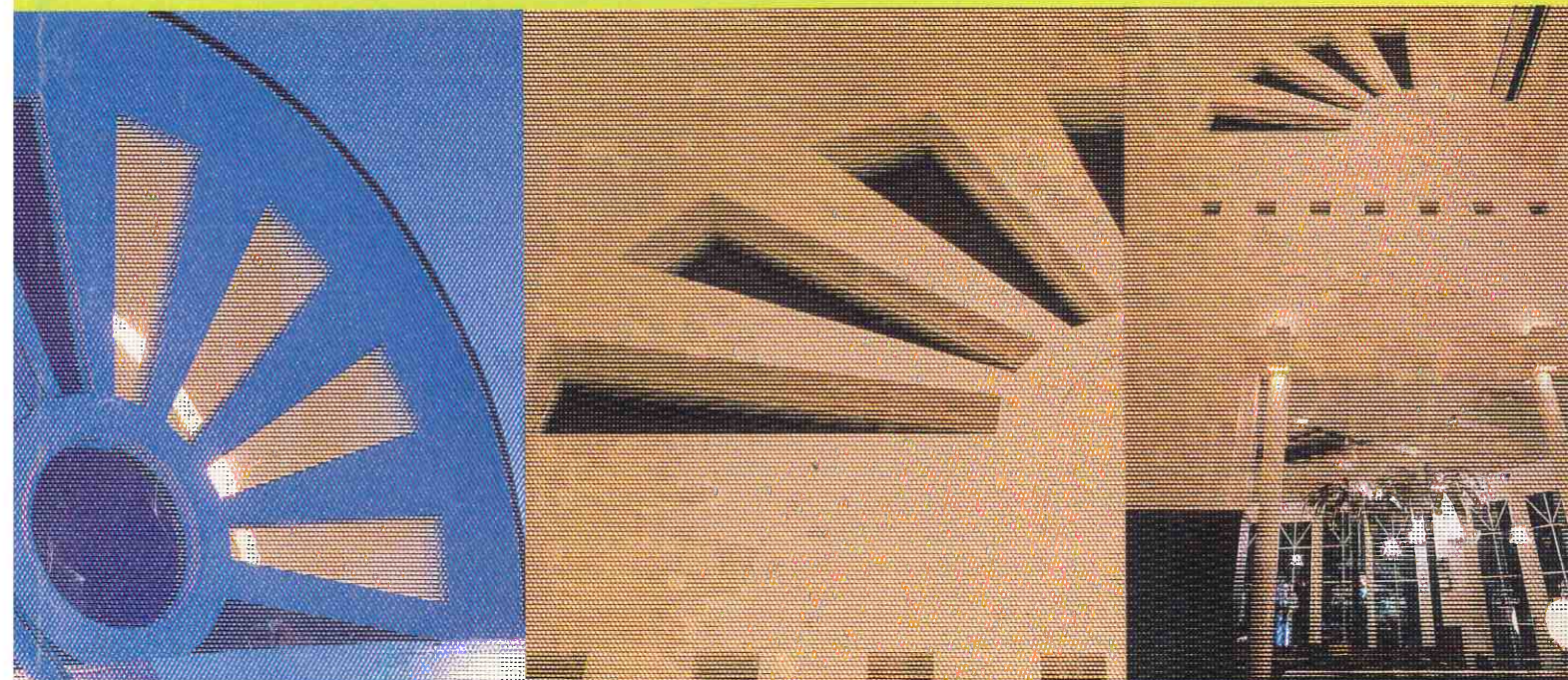
昭和61年5月1日発行 毎月1回発行 昭和31年9月5日国鉄特別扱承認雑誌第3291号 昭和31年9月12日第3種郵便認可

業種特集/カフェ&レストランのニュー・バリエーション23題

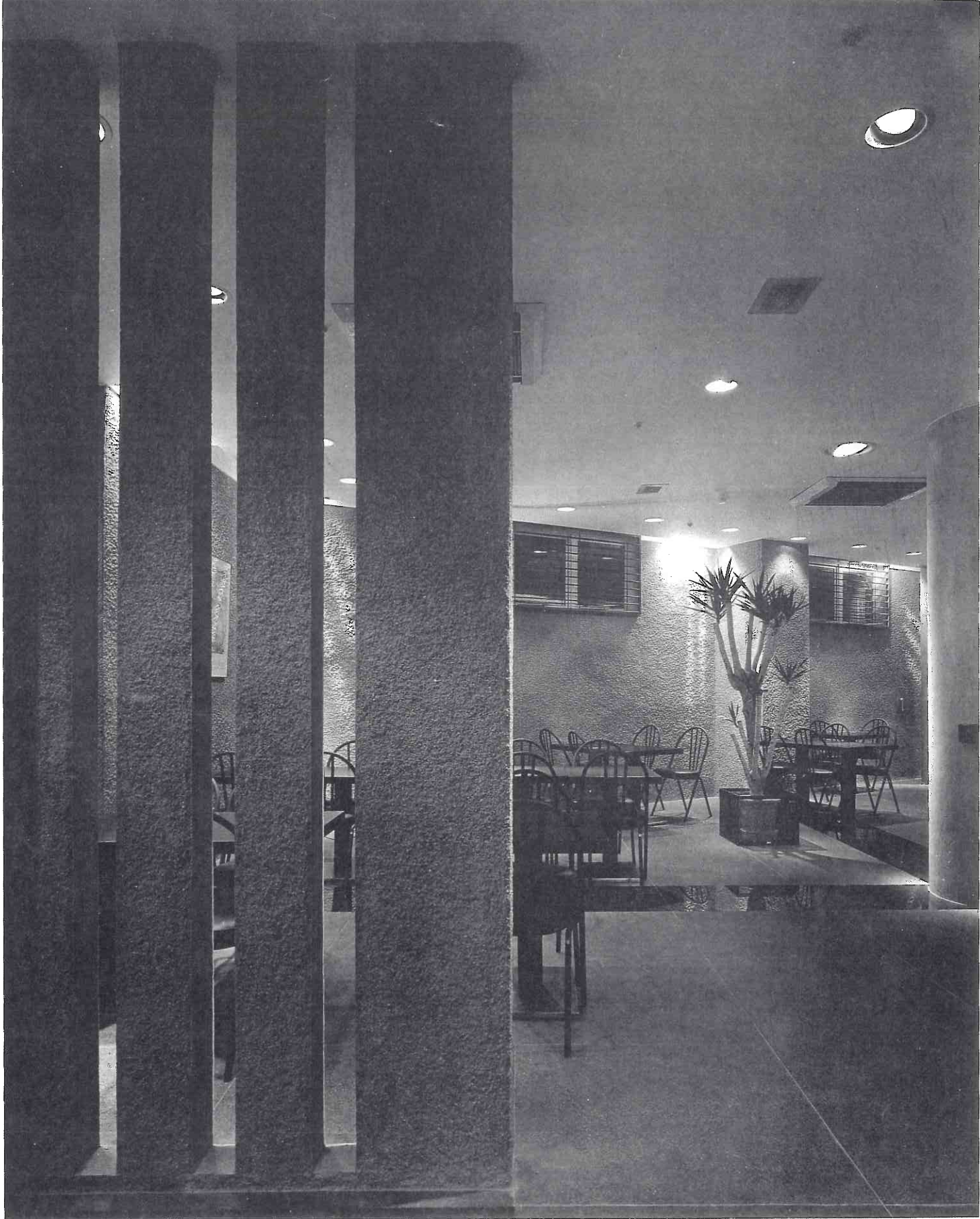
特別企画/ローテック・デザインのすすめ

新作/「ロビンソン春日部」「大月真珠ショールーム」「焼肉・銀座天成閣」

MAY 1986 VOL.31 NO.6



COMMERCIAL ARCHITECTURE THE COL



入り口のスクリーンを通して店内を見る

壁全面に独特の表情を持たせたカフェレストラン

## カルロ フェリーチェ

愛知県名古屋市中区栄1-1-1 栄ビルディング1F

企画 ライカ活外事業部  
ディレクション プラスチックスタジオアソシエイツ 高山不二夫  
設計 プラスチックスタジオアソシエイツ 中村雅子  
施工 船場名古屋営業所  
機材 照明 ロシオフグループ  
家具 豊崎貿易イテール事業部 カッシーナジャパン



カウンター席と入口方向を見る

●窓をすべて殺し、垂直面全面を壁にする名古屋でも、山手通りというと、有数の高級住宅街であり、学生や若者の集まる小ざれいな店が建ち並ぶ通りである。この通りに面して、2階の角にあるのがこの店である。丘の上に立ち、その家並みが見える実に景色のよい所である。

しかし、誰もが信じなかった様に、この窓をすべて殺して、一面壁にしてしまうという大胆な行為…。この壁は、モルタルに顔料とな

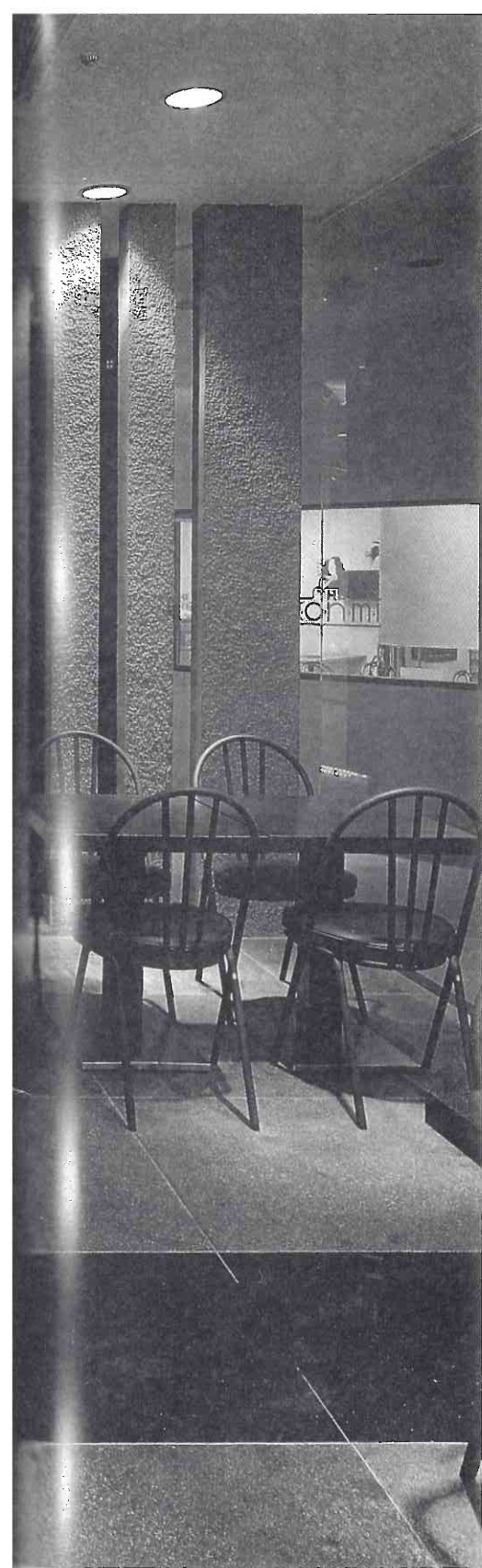
るスミを入れ、美の黒石を砕いて混ぜ合わせ塗り込み、半乾きの頃びしゃんで叩いていくという、実に神経を使う作業である。

実際、途中で2回やり直しをするというアクシデントがあったのだが、その時も大阪から来ていた職人たちが、道具を取りに往復するという時でさえ、何も言わずに私の提案に合意していただいたことがあった。

3人がかりで一面壁という壁、垂れ壁、パーティションなど、この垂直な面をすべてこの

やり方で構成した。仕上がってみて、この店の立地条件に、ある意味では反するともいえるこのデザインに、単に、そのテクスチャだけにとどまらず、ある種の驚きに似た思いを、誰も感ずるのではないだろうか。

〈中村雅子〉

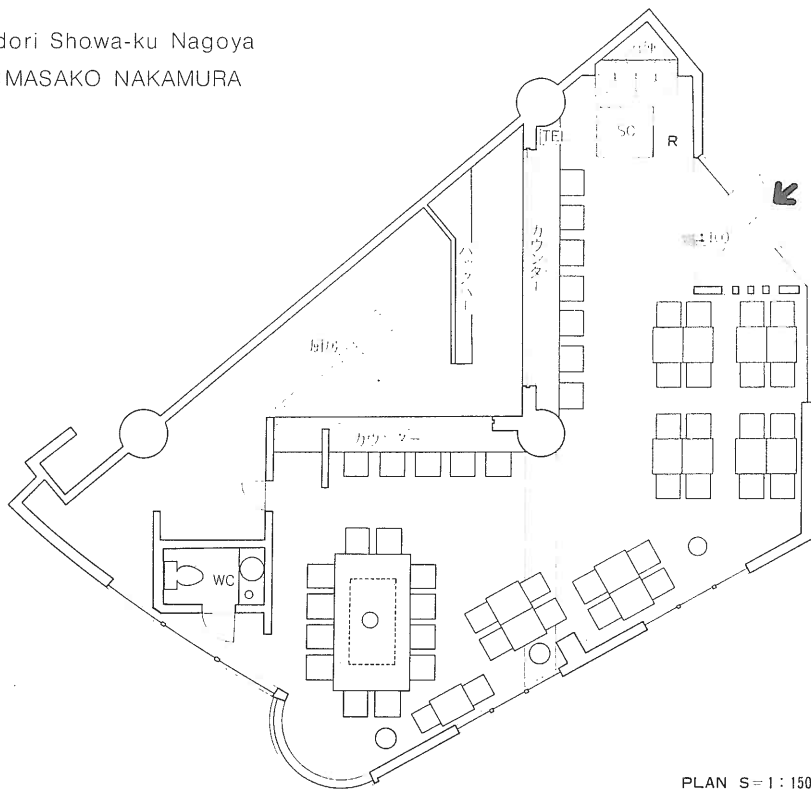


最奥の大テーブル席。開口部をすべてふさぎ、壁に独特の表情を持たせた空間構成

## Café Restaurant CARLO FELICE

Yamate-dori Showa-ku Nagoya

DESIGN:MASAKO NAKAMURA



PLAN S=1:150

### ■「カルロ フェリーチェ」設計データ

用途地域地区……………商業地域  
 工事種別……………内装のみ・新築  
 床面積……………125.3m<sup>2</sup>(うち厨房34.5m<sup>2</sup>)  
 工期……………1985年9月27日～10月31日

### ■ 営業内容

開店……………1985年11月3日  
 営業時間……………午前10時～午後11時  
 定休日……………第2・第3火曜日  
 電話……………(052)834-6257  
 経営者……………㈱ライカ  
 従業員……………サービス4人 厨房3人  
 合計7人

客席数……………48席  
 客単価……………1200円  
 客回転数……………2回  
 主なメニュー……………  
 ジェラード400 スープ450 ビール350  
 サラダ450～600 パスタ600～900  
 テーフサディション 昼:1000 夜:2000

### ■ 主な仕上材料

サイン……………スチールメラミン焼付け塗装 切抜き文字  
 照明内蔵  
 床……………黒御影石ジェット仕上 一部黒御影石本磨き仕上  
 壁……………モルタル・美の黒石黒着色キャストン仕上 柱

コンクリート打放し  
 天井……………PBI12下地 V.P塗装 一部間接照明内蔵  
 照明器具……………ウシオスペース バレンテュジ(日本フロス)  
 家具……………黒崎貿易イテター事業部 レオナルド(カッシーナジャパン)  
 カウンター……………甲板 黒御影石本磨き 腰 黒御影石  
 ジェット仕上 間接照明内蔵  
 テーブル……………甲板 タモ合板黒染色ウレタン塗装 脚  
 スチールメラミン焼付け塗装

### ■ 撮影 加斗タカオ